

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	935	市営住宅維持補修事業	会計	01	一般会計
基本施策	30	伊賀市らしい住まいと居住環境を創造する	款	08	土木費
			項	05	住宅費
			目	01	住宅管理費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	101	住宅維持管理経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	02	市営住宅維持補修事業
		52-3220			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)	
	市営住宅の通常修繕業務		入居者に快適な住環境を提供する。	
本年度事業内容	一般修繕工事			
運営主体	☐ 直営 ☐ 指定管理 ☒ 民間委託等 (委託先: 建築業者)		根拠法令・要綱等	公営住宅法
市内の類似施設				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,734	1,100	1,100
	委託料			
	修繕料	1,734	1,100	1,100
	その他			
	合計(A+B)	3,174	2,540	2,540
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財		1,100	1,100
	一般財源	3,174	1,440	1,440
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
維持補修1件当り工事費	万円/件	11	10	9

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
維持補修1件当り修繕費	維持補修必要個所の早期措置による工事費の節減。	万円	11 目標 ()	10	9
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

建築から相当年数を経過した比較的古い住宅は修繕費用が当然のことながら嵩む傾向にある。共同式のものは大規模修繕は困難なため、部分修繕で凌いでいかざるを得ない。ために公平性等の観点から大幅な改善はできない。
--

評価	必要性	4	比較的古い住宅にあつては、新築時の生活水準の設備、間取り等で建築されているため、現在の水準からすると低水準と言わざるを得ない。このため、現在では常識的になっている据付備品等の取扱で疑義が生じることがあり、改善を要する。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	2		